

観光シンポジウム 2018

- インバウンドに対応できる観光人材育成教育とは -
日豪ホスピタリティ研修プログラムの事例から

体験学習が学びを深める



写真：オーストラリア・グレートオーシャンロード

➡ 日時

11月26日（月）13:00～14:30

➡ 会場

札幌国際大学2号館2階「創風」

➡ 参加は無料です。

直接会場にお越しください。

➡ 講演

*（公社）北海道観光振興機構 次長
上田 昌司 氏

*TAFE 公立職業訓練高等専門学校
ホルムズグレン CEO
メアリー・ファローン 氏

*札幌国際大学観光学部 学部長
川名 典人 氏

➡ 日豪ホスピタリティ研修 シンポジウム

観光シンポジウムのお問合せ 電話: 011-881-8844 メール: n-kawana@ts.siu.ac.jp

観光シンポジウム2018

北海道へのインバウンド観光客は毎年大幅に増加しています。増加するインバウンド観光客が求めているのは国際水準の日本のホスピタリティや観光サービスです。国際語である英語はその目的を果たすための重要なツールとなっています。

オーストラリア最大規模のTAFEは職業教育訓練分野では確立した資格や制度を有する公立の高等教育機関です。2017年よりメルボルンにあるHolmesglenTAFEはルスツリゾートを”舞台”にして日豪ホスピタリティ研修を実施しています。2018年度も11月に宿泊部門と料飲部門で4日間、ホスピタリティ分野でHyatt Hotel, Ascott Group等での勤務の経歴を持つホルムズグレンの講師を中心にインテンシブな学びを実施しました。そのプログラムは、接客の基本英語、部門ごとの基本的な対応、問題対処法、リクエスト対応法、シチュエーション別トレーニング、グループディスカッション、そしてフロントやレストランでの実践研修が含まれます。本学からは観光学部の学生が10名参加しております。

本シンポジウムではルスツリゾートのフロントやレストランを使用して実施した2年間のインバウンド観光客に対する英語接客研修の成果や今後の研修ビジョンに関して多角的な視点でディスカッションいたします。また、HolmesglenのCEOであるメアリー・ファローン氏がTAFEの観光人材育成教育について海外事例も含めた講演を行います。更に北海道観光振興機構次長の上田昌司氏からはデータで見る北海道におけるインバウンド観光客の現状と課題について講演していただきます。本学からは、観光学部が目指す「体験学習から学ぶ観光人材育成戦略」についてオンライン学習やロボットを利用した学習を含む多様な事例を紹介しながらお話し致します。

本シンポジウムが観光現場で求められている世界水準の観光ホスピタリティ人材育成という目標を達成するための指針となれば幸いです。是非、多くの方が観光シンポジウム2018に参加して、情報を共有していただければと思っております。

札幌国際大学
観光学部 学部長
川名典人

📅日時

11月26日(月)
13:00~14:30

📍会場

札幌国際大学2号館2階「創風」

👉参加は無料です。

直接会場にお越しください。



タイムテーブル

- 挨拶：札幌国際大学 学長
城後 豊 氏
- 挨拶：オーストラリア領事館 領事
ロナルド・グリーン 氏
- 講演：(公社)北海道観光振興機構 次長
上田 昌司 氏
テーマ：北海道におけるインバウンド観光客
～現状と課題～
- 講演： TAFE 公立職業訓練高等専門学校
ホルムズグレン CEO
メアリー・ファローン 氏
テーマ：TAFEの観光人材育成教育
- 講演： 札幌国際大学観光学部 学部長
川名 典人 氏
テーマ：体験型学習による観光人材育成教育
- 日豪ホスピタリティ研修&観光人材育成
パネルディスカッション
パネラー1 トム・スタフォード 氏
TAFE ホルムズグレン
パネラー2 上田 昌司 氏
(公社)北海道観光振興機構
パネラー3 遠藤 正 氏
学校法人札幌国際大学総合研究所
モデレーター 川名 典人 氏
札幌国際大学観光学部
国際観光学科
総合司会 千葉 里美 氏
札幌国際大学観光学部
観光ビジネス学科

観光シンポジウム2018 お問い合わせ 電話: 011-881-8844 メール: n-kawana@ts.siu.ac.jp